

令和6年度 議会運営委員会行政視察報告書

1 視察日時 令和6年11月6日(水)～11月8日(金)

① 長野県長野市 11月6日(水)午前10時30分～正午	議会改革(意見交換会)について 常任委員会のインターネット中継について
② 新潟県上越市 11月6日(水)午後3時00分～午後4時30分	議会報告会・意見交換会について
③ 新潟県柏崎市 11月7日(木)午前11時00分～午後0時30分	通年議会について
④ 新潟県長岡市 11月8日(金)午前9時00分～午前10時30分	議会中継について

2 視察項目及び目的

【意見交換会について】

本市では、議会改革を推進し、市民からの政策提案の拡大を図るため、市民との意見交換会を開催している。意見交換会当日に、参加者からいただくご意見が多岐にわたることや、市政全体の要望事項をお受けすることもみられるため、他市の運営方法等をお伺いし、本市の参考とする。

【常任委員会のインターネット中継・議会中継について】

本市では、本会議を対象として、中継・録画映像の配信を行っている。

他市では、常任委員会の中継や、多様なチャンネル(ケーブルテレビ、YouTube、FM放送)での、中継・録画配信を行っている例があることから、運営方法や課題等をお伺いし、本市の参考とする。

【通年議会について】

本市では、年4回の定例会を開催している。

他市では、通年議会を導入している例があることから、運営方法等をお伺いし、本市の参考とする。

3 参加者 議会運営委員会

委員長 関口 孝夫

副委員長 大内 清心

委員 齋藤 理史

議長 田中 良夫

副議長 原田 悟

随 行 議会事務局長 戸田 実、主幹 木村 将康

4 行政視察内容

【長野県長野市】

① 市の概要 人口:363,337 人/令和6年9月1日現在 面積:834.81k m²

長野県の北部に位置する県都中核市で、明治 30 年の市制施行により、県内で初めての市として長野市が誕生し、中央の出先機関や経済・文化面にわたる中心的機関が集中され、また、信越本線・中央線が開通するなど、政治・経済・文化及び交通の要衝として急速に発展した。

その後、数度の合併を経て、高度経済成長期の発展の中で人口が急増し、道路などのインフラとともに、小中学校などの公共施設の整備が進められた。平成 10 年のオリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催により、長野新幹線や長野自動車道及び上信越自動車道などの高速交通網が整備され、大都市圏がより身近になるとともに、市内の都市基盤整備も急速に進んだ。

平成 11 年 4 月には中核市に移行し、平成 17 年1月に豊野町、戸隠村、鬼無里村及び大岡村を編入合併、平成 22 年1月に信州新町及び中条村を編入合併して更に市域を拡大し、県都としての新たなまちづくりを推進している。

②視察報告

◎「議会改革(意見交換会)」について

市民に信頼される議会、より市民に身近な議会の実現に向け、情報公開と市民参画及び市民意見の把握と反映に努めるとともに、議会での議論の経過と議決に関する説明責任を果たすため、「議会報告会」を、平成 25 年より 4 回開催した。

平成 29 年度には開催方式を見直し、報告会形式から意見交換会形式に変更するとともに、名称も「市民と議会の意見交換会」と変更し、特別委員会ごとにテーマを決めて、特に参加者からの意見を聞き、市政に反映させていくことに重きをおいた運営をしている。

◎主な質疑

質 問	説明及び回答
報告会形式での課題について、また、開催方式を、報告会形式から意見交換会形式に変更された経緯について、お伺いします。	報告会を開催してきた中で、参加人数が減少していること、時間の制約があり、参加者が意見を述べる時間が少ないこと、議会からの報告が中心となっていること等の課題がありました。 「議会活性化検討委員会」で、検討を重ねたうえ、さらに市民との意見交換を主体としたものへ転換を図るとして、大きくシフトチェンジしたものです。

市民からの反応について、お伺いします。	回数を重ねるごとに、参加者アンケートの結果は改善しています。 特に、「いろいろな意見が聞けて良かった」と前向きな評価をされるご意見をいただいています。 しかし、「意見交換会ではなく、要望会になってしまう」「全体的に良い会だが、若年層の参加を促して欲しい」「市民が一方向的に意見をぶつけるような会ではなく、様々な意見が聞ける機会として欲しい」「テーマをもっと絞るべきではないか、話の脱線が多すぎる」などの意見もあり、今後の運営の課題と考えています。
テーマに添って意見交換会を開催されていますが、どのようにテーマを設定しているのか、お伺いします。	市民が参加しやすいテーマ設定となるように、意識しています。 また、常任委員会ごとに、消防団や工業会のような関係団体等と定期的な意見交換を行っており、その際にいただいた意見や、気づいた事柄などを参考に、市民にとって関心の高いテーマを設定しています。
市内高校生・大学生との意見交換会は、どのように学校側へ依頼し開催したのか、お伺いします。	高校生は、市立高校へ依頼しました。大学生は、議員の知人が大学講師を務めており、構想をお伝えしたところ、ご縁があり開催することができました。 議員が学校に赴き、教室で意見交換会を行いました。議員がホスト役を務め、意見をまとめるように運営しました。

◎所感

・多くの議会が、市民と直接対話する機会を設けているなか、市民が苦情や要望を述べる場になりがちであることや、参加者に固定化がみられることなどの課題があるのだと改めて感じたが、長野市は、運営の工夫として、市民の関心が高い内容をテーマに設定したうえで、テーマに沿った意見の発言を促しており、本市でも取り入れる余地があるか、検討していきたい。

・自治会へお声がけすると、どうしても参加者が同じ方になること、また、特定地区の特定課題についての要望事項が出てしまうことから、参加者のすそ野を広げることは大きな課題であると伺った。長野市は、テーマを設定し、少人数の募集とし、リラックスした雰囲気の中

で対話を行うように努めて実施しているとのことで、本市議会でも運営の参考にしたい。

・市内の高校生や大学生との意見交換会を実施したことに、感銘を受けた。

テーマも、「普段使っている電車、バスは便利?」「将来、長野市で就職したいですか」「40歳の私たちの暮らしはどうなって欲しいですか(どうなっていると思いますか)?」というような、若者が興味を持ちやすい内容としており、大学生には、『あなたが議員になったらどうするか』という観点から意見を述べてもらうなどの取り組みは、参考になった。

②視察報告

◎「常任委員会のインターネット中継」について

インターネット(YouTube)で、常任委員会の録画中継を配信している。

◎主な質疑

質 問	説明及び回答
委員会の録画中継を開始された経緯について、お伺いします。	議事録の完成までに8か月程度かかっていたこともあり、「議会活性化検討委員会」において、検討を重ね、議事録の補完としての位置づけとして、中継を開始しました。 議事録の完成後、映像の公開は停止しています。 なお、平成28年の検討時、他団体の事例を照会したところ、2,000万円以上の経費がかかっている団体もありました。 事務局の事務量の増加が不明であったこともあり、経費を抑えた方法で実験し、その結果を検証するとして検討した結果、現在の運用となっています。
どのように、録画をされているのか、お伺いします。	市販の家庭用ビデオカメラを用い撮影しています。カメラは、三脚に固定したままで、発言者にカメラを向けるなどの作業は行っていない。
委員会の録画中継のメリットや、課題について、お伺いします。	録画中継を行うことで、広報の充実が図られること、会議録が完成するまでの記録として有用であると考えます。
公開の対象としている委員会について、お伺いします。	常任委員会を公開対象としています。議会運営委員会は、公開対象外です。

映像の編集は、どのように行っているのか、お伺いします。 また、公開開始に伴う、事務局職員の負担について、お伺いします。	テロップ等は付けず、会議の前後と、発言の取り消しがあった場合の削除作業を行っています。 当然、開始前のテストや初回運用時には、相応の労力が必要でしたが、現在は、慣れた職員が事務作業を行っていることから、過大な負担であるとは考えていません。
映像配信に対し、どのように執行部と調整をされたのか、お伺いします。	委員会は、通告制ではないことから、より慎重に答弁を行うようになった面もあるかもしれませんが、特に執行部からの申し入れなどはありませんでした。

◎所感

・長野市のように規模の大きな団体が、簡易的な手法で録画中継を行っていることで、少々驚きを持って視察に伺った。費用を抑えた形で試行した、とご説明いただいたが、新たな取り組みをする場合、担当職員の労力は相当のものであったと考える。また、長野市庁舎は、平成28年に建替えされ、かなり新しい設備が整っていたが、本市議会の委員会室等には、マイクやスピーカー等の設備がないことから、ハード面の整備も併せて検討すべきと思う。

・会議録完成までの期間が長いことから、議事録を補完するとして開始されたと伺った。本市では、会議録完成までにそれほど時間を要していないと思われるが、参考になった。

（事務局注：加須市議会では、概ね3か月で会議録が完成するようにしています。）

・中継運用指針を定め、「議員は、動画をダウンロードし、保存してはならない」など取り扱っており、議員一人ひとりが誠実に向き合う必要があると感じた。

・委員会の中継・録画映像の配信の是非、その手法や必要設備などについて、検討を重ねる必要があると思う。

◎視察状況



行政視察の様子



長野市議会議場

【新潟県上越市】

① 市の概要 人口:180,976 人/令和6年9月1日現在 面積:973.89 k m²

上越市は、新潟県の南西部に日本海に面して位置し、古くから交通の要衝として栄えてきたが、現在も重要港湾である直江津港や北陸自動車道、上信越自動車道のほか、えちごトキめき鉄道 妙高はねうまライン、日本海ひすいライン、JR 信越本線、ほくほく線などの鉄道網を有している。

さらに、平成 27 年 3 月には北陸新幹線が金沢まで延伸したほか、上越魚沼地域振興快速道路などのプロジェクトが進行するなど、三大都市圏とほぼ等距離に位置する中で、陸・海の交通ネットワークが整った有数の地方都市となっている。

市の中央部には、関川、保倉川等が流れ、この流域に高田平野が広がり、この広大な平野を取り囲むように、米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地などの山々が連なっている。

昭和 46 年に、高田市と直江津市が対等合併により「上越市」が誕生し、平成 17 年に、周辺 13 町村を編入合併し、面積が約 4 倍に増大した。

②視察報告

◎「議会報告会・意見交換会」について

議会で行われた議案等の審議や、審査の内容を報告するための議会報告会や、議会への市民参画の促進と、市民意見を市政に反映させる機会を設けるための意見交換会を、予算を審議する 3 月定例会の終了後と決算を審議する 9 月定例会の終了後に開催している。

議会報告会や、意見交換会でいただいた意見について、正副議長と全委員長で構成する課題調整会議により、議会としての対応方針を決定している。

◎主な質疑

質 問	説明及び回答
意見交換会の開催経緯について、お伺いします。	平成20年に、議長の意向を受け、初の議会報告会を開催しました。 平成22年11月に、議会基本条例を策定し、予算決算議会(3月9月定例会)の終了後、議会報告会と意見交換会を開催してきました。 令和4年7月に、議長が「広報公聴活動に関する取り組み」について、広報公聴委員会に対し諮問し、令和5年3月に答申を行いました。 その内容は、議会報告会の運営手法を見直そうとするもので、

	・議会報告会と、意見交換会のニーズが異なるため、分けて開催する ・議員一人ひとりが議会活動に意見を反映させるため、全議員が意見交換に参加する ・市民から行政への要望会ではなく、意見を交換する場とするため、グループで議論する形式とする というものでした。 これまで、議会報告会と意見交換会を同時開催していましたが、参加者が減少・固定化するようになったこと、参加者アンケートから、「意見交換を求めている方が多いので、もっと時間をとって欲しい」「報告は、報道や議会だよりなどで見ているので、意見交換を主とすべき」との声があったことから、検討の結果、令和5年度からリニューアルし開催することとしました。
リニューアル後の運営の方法について、お伺いします。	ご意見を聴く会、議員と気軽にトークの2本立てとしています。 ご意見を聴く会は、 ・議会報告を冒頭の3分間で行う ・意見交換の時間を 25 分から 70 分に拡大 ・教室形式から、車座形式で行う ものとし、 議員と気軽にトークは、 ・議員が人の集まる場所へ行くこととし、市内の大型商業施設等で開催 ・議会に興味のない人に、知ってもらうきっかけとする ・市民と議員が一緒にグループになり、市民からテーマを出してもらい、意見交換を行う ものとしています。
リニューアル後の運営において、配慮している内容について、お伺いします。	議会が組織として行うものであり、いただいた意見をその後の議会活動に反映することを重視するよう、議員間で認識を共有しています。 また、議員の発言は、議員の個人的見解に留まるものであり、議会としての対応をお約束するも

	のではないこと、1回の発言は3分以内とすること、広報紙等で、容姿が掲載される可能性があることをお伝えしています。
女性の参加者が増えているとのことですが、どのように評価されているか、お伺いします。	現在、女性議員が7名いますが、改選前は(1名の女性市議が県議選に立候補し辞職のため)ゼロ人でした。 女性議員が増えるよう、女性が様々な場所・分野で活躍できるよう、また、男女関係なく市政に携わることができるよう、盛り上げていこうという機運がありましたので、意見交換会にも女性の参加者が増えることや、市政や議会に関心を持っていただけすることは、ありがたいことと考えています。
意見交換会の導入のメリット、(おありになる場合)運営の課題について、お伺いします。	令和5年度は人が集まる大型商業施設と、子育て世代を対象に、子どもセンターで開催しました。 対象者を明確にし、今まで意見をお聞きすることが難しかった子育て世帯からも意見を聴くことができたと感じています。一方で、個人的な要望を行う参加者がいらっしゃることや、参加者の高齢化・固定化が見られることが課題となっています。
リニューアル後の市民からの反響について、お伺いします。	参加者アンケートでは、「異なる世代の思いを聞くことができて良かった」「有意義な時間だった」との意見をいただきましたが、「静かな場所で開催して欲しい」という意見もあり、今後の課題となっています。

◎所感

・意見交換会に対し、事前にテーマを設けていないことから、当日、公共施設の修繕や議員定数など、バラエティに富む意見があったと伺った。

我々加須市議会においても、意見交換会のテーマを設けていないことから、同様の課題があることを共有した。前日の、長野市では、テーマ設定をおこなっていたが、それぞれの考え方があり、本市議会の運営について、検討をしていきたい。

・意見交換会の「正しい」開催方法はないものの、市民が求めることは何か、より実りのある意見交換会となるかを改めて考える契機となった。特に、人の集まる場所へ、こちらから出向いて行くことは参考になった。ちなみに、上越市の大型商業施設は、開業時に行政が支援をおこなったものであるというが、本市でも、来ていただくことと同様に、こちらから出向くことも含め運営方法を検討したい。

・どのように参加者を募っているのか、お尋ねしたところ、議会だよりやホームページなどでの周知、各議員が声掛けを依頼されているが、参加者が固定化している課題があるとのことだった。

当市議会でも同様の働きかけをし、同様の課題があるが、上越市では興味を持ってもらうためのきっかけづくりになれば良いとして、大型商業施設で開催した際は、議員が来客者に呼び込み・声掛けを行っているとのことで、刺激を受けた。

・全議員が参加することは、素晴らしい取り組みであると感じた。本市議会では、議会運営委員会の委員が対応するが、分科会のように分けて開催し、全議員が対応する方法で開催することも、改善案として検討していきたい。

◎視察状況



行政視察の様子



上越市議会議場

【新潟県柏崎市】

① 市の概要 人口:76,592 人/令和6年9月1日現在 面積:442.02 k m²

新潟県のほぼ中央に位置し、地域の南西から東部一帯にかけて、米山、黒姫山、八石山の山系によって囲まれ、北西方向は、延長42kmに及ぶ海岸線で日本海に面している。

市のほぼ中央部を鵜川、鯖石川が日本海に注いでいて、この下流域には柏崎・刈羽平野が開け、水田地帯を形成している。

昭和15年、新潟県で5番目、全国で162番目の「市」として発足以来、近隣町村を合併し、平成17年5月1日には高柳町、西山町との合併を経て、現在は、柏崎刈羽圏域の中心都市の役割を果たしている。

歴史的には、明治30年代に石油が噴出したことにより、日本で初めて本格的な石油精製が始まった地であり、関連して発達した機械部品製造などのものづくりによる工業が集

積している。

平成19年7月16日に「新潟県中越沖地震」が発生し、市内全域が甚大な被害を受け未曾有の災害となったが、震災からの復旧は早いスピードで進み、震災前以上の活力を備えた復興に向け歩みを続けている。

②視察報告

◎「通年議会」について

平成25年5月1日から通年会期制を採用し、会期を毎年5月1日から翌年の4月30日までの通年(丸1年間)としている。

会期を通年とすることによって、常に議会が活動できる状態となっている。

◎主な質疑

質 問	説明及び回答
導入の経緯について、お伺いします。	平成23年9月に、「議会改革に関する調査特別委員会」を設置し、調査研究を行いました。 そして、平成25年2月議会において、通年議会に関する各種例規を整備し、平成25年5月から通年議会へ移行しました。 「改革先行型と称して、合意できたものは即実行」するとして、議論を進めるとともに行動しました。当時の全議員による取り組みの結果と考えています。
(おありになる場合)通年議会の運営の課題について、お伺いします。	特筆する大きな課題はありません。 おそらく市長専決処分の案件数は、他自治体と比べ少ないと思いますが、災害及び突発的な事故により、緊急的に必要となる維持補修(豪雪時の除雪経費を含む)は、雪国ということもあり、市長専決となるケースがあります。 会期中の事案については、議案として扱うように執行部へ申し入れを行い、議会での審議の対象としています。
通年議会のメリット、(おありになる場合)デメリットについて、お伺いします。	質問されることが多いのですが、「どちらも、特にありません」というのが、正直な感想です。 議員の大半が、通年議会導入後に議員となっていることありますが、通年議会が定着してお

	り、デメリットを感じることはありません。 なお、通年議会に対し、市民の満足度をどのように評価するかという点については、難しい内容だと感じています。
--	---

◎所感

・通年議会の導入に対し、市長や執行部の理解を得るため、どのようなご苦勞があったのか伺ったところ、「率先して賛同する市長はいないのかもしれませんが、議会のあるべき姿はどのようなものか」を検討し議論を重ねた結果、一つの方策として通年議会に移行されたと伺った。(通常の定例会は、市長が開催するのに対し)通年議会は、議長が開催するため、一般に議会のチェック機能が働きやすいと言われることから、本市議会においても、今後の検討課題の1つであるとの思いを新たにしました。

・定例会を行う議会も通年議会も、進め方はほぼ同じだと思うが、なぜ通年制を採用されたのかお伺いしたところ、「議会の独立性の問題」が一番とのことだった。

確かに、議長から市長に招集をお願いして、市長が招集する、というのは独立性の観点からして違和感があり、議長の権限で開会し、市長に説明をしていただくことが良いと考える。本市議会に、どのような当てはめができるか、今後検討していきたい。

・視察当日は、議長・副議長、議会運営委員長・副委員長から直接ご説明をいただいた。なお、市長が議員経験者ということもあるのか、市長と議長間で定期的な意見交換をする場があるといい、当日も、市長と議長で打合せを行った直後に、視察を受け入れていただいた。また、副市長と、議会運営委員長・副委員長も、定期的に意見交換の場があるという。

本市議会においても、両輪として意見交換の場を設けていけたら良いと感じた。

◎視察状況



行政視察の様子



柏崎市議会議場

【新潟県長岡市】

① 市の概要 人口:256,084 人/令和6年9月1日現在 面積:891.05 k m²

長岡市は、新潟県の中南部(中越地方)に位置し、県内では新潟市に次いで第2位の人口を持ち、中越地方では最多の人口を有する。また、日本一の大河・信濃川が市内中央を雄大に流れ、海と山に囲まれた自然豊かなまちである。

過去、幾多の災禍(戊辰戦争や第二次世界大戦の長岡空襲など)で市の中心部は壊滅的被害を受けましたが、長岡の人とまちは、「米百俵の精神」で立ち上がってきた。

特例市に指定されており、特に、長岡まつり大花火大会が有名な都市。

② 視察報告

◎「議会中継」について

多様なチャンネルで、中継(録画中継)を配信している。

・インターネット中継

本会議と常任委員会、特別委員会の中継(生中継のほか録画中継)を配信。

・ケーブルテレビ

本会議と常任委員会の中継(再放送は当日の午後 7 時から)を放送。

・YouTube

本会議と常任委員会、特別委員会の録画中継を配信。

・FM ラジオ(FM ながおか)

本会議中継を放送。

◎主な質疑

質 問	説明及び回答
導入の経緯について、お伺いします。	平成13年9月からケーブルテレビ及び FM ラジオでの放送を始めました。 議会活性化検討委員会により、平成10年度に、「ケーブルテレビ等による本会議の放送については、前向きに今後も検討すべき課題である」と答申があり、検討課題としてきました。 平成 12 年度には、「本会議の市民向け中継については、ケーブルテレビによる放送や、FM 放送といった手法を活用しながら、大いに検討していくべきである」との答申があり、開始したものです。 インターネットについては、平成17年9月から本会議を対象に配信を開始しました。

	また、常任委員会については、平成26年6月からケーブルテレビで放送を開始しました。 そもそも、面的に広く、山間部を有しているという地理的な特徴と、新幹線開通によりテレビ視聴困難エリアがあるため、長岡市も出資しケーブルテレビ局が設立された経緯があり、ケーブルテレビ局と、比較的調整がうまく進んだことも放送開始に影響があったかもしれません。
本市は、関東平野のほぼ中央に位置していることもあり、ケーブルテレビにあまり触れることがないため、市民の皆さんとケーブルテレビの接点について想像しにくいこともありますが、ケーブルテレビの普及率について、お伺いします。	令和5年12月末現在ですが、 ・接続可能世帯数は約105,000世帯 ・加入世帯数は約44,000世帯で41.9%です。 視聴率については、全体として1%に届くかどうか、といったところです。 インターネットで視聴される方と、ケーブルテレビで視聴される方は、対象となる層が異なると思われるので、それぞれにニーズがあると考えています。
どのように、ケーブルテレビ放送をされているのか、お伺いします。	本会議では、ケーブルテレビの社員が議場にいらして、操作・放送をしています。 委員会では、事務局職員と、ケーブルテレビ社員が配信に携わっています。
録画映像を議員へ提供されているか、お伺いします。	当該議員の部分の映像のみを対象として提供しています。
データの保存期間について、お伺いします。	公開対象のデータを保存していますが、データ容量や、公文書保存年限の観点などから、今後の検討課題となっています。
配信について、事務局職員の負担はどのようなものか、お伺いします。	おおよそ会議に要した時間の半分程度の時間が、会議後の編集・配信にかかる時間ですので、確かにその分は、事務局職員の負担ではあります。市民に定着していることもあり、現在もスピード感を持って業務にあたっています。

どのように、FM 放送をされているのか、お伺いします。	FM 局の社員が議場にいらして、設定を行い放送しています。事務局職員は、放送に携わっていません。
-----------------------------	--

◎所感

・議場がある庁舎「アオーレ長岡」は、平成24年にオープンした新しい施設であり、カメラが委員会室に3台、本会議場には5台設置され、また、マイクやスピーカーなどもあり、かなり設備が整っていた。

設備のある委員会室で、公開対象の会議を行い、設備のない委員会室では公開対象外の議会運営委員会等を行うなど、設備をうまく活用していることがうかがえた。

・議員に対し、該当部分の映像を事務局から提供していると伺った。また、著作権についてお伺いしたところ、市に帰属しているとのことだった。

「議員側での切り取りなどの加工はしない」などと申し合わせにより扱っていることから、ここでも、議員一人ひとりが誠実に向き合う必要があると感じた。

・様々なチャンネルで放送・配信しており、さすが議会改革ランキングの上位にランクされる議会だと思う。聴覚の不自由な方への対策についてお伺いしたところ、他議会の例を研究中とのことだった。映像に字幕を付ける、手話通訳者を派遣するなどの方策について、今後、私たちも研究していく必要があると感じた。

・委員会中継を行う場合、執行部と調整の必要や、議会・議員間での運用ルールを明確にする必要があると感じた。また、本市議会の委員会室には、音響設備がなく、その整備には、多くの経費がかかると思われる。なるべく経費をかけず、事務局職員の事務負担も軽減できる手法について、また、委員会の映像配信の是非について、今後の検討課題としたい。

◎視察状況



行政視察の様子



長岡市議会議場